

仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 広島県三原市城町1丁目18-6

2. 建物概要

Table with columns: 建物名称, 構造, 階数, 建築基準法による床面積(m2), 用途法別区分, 備考

3. 工事種目 (印の付いたものを適用する)

Table with columns: 建物別及び工種別, 工種別, 屋外

4. 指定部分 (※無し・有り(工期平成 年 月 日))

対象部分: _____

5. 設備概要

Table with columns: 設備種別, 設備概要

II. 特記仕様

- 1. 一般事項
1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて建設大臣官庁審判部認定の機械設備工事共通仕様書(平成9年版)
2) 電気設備工事及び建築工事等を含む場合、電気設備工事及び建築工事それぞれの特記事項を適用する。
2. 特記事項
1) 区分は、●を、項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は ○印の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。
○印 ○印の場合は両方を適用する。

Table with columns: 区分, 項目, 特記事項

① 工事用電力、水、その他

② 工事用仮設物

③ 発生材の処理

④ 工事写真等

⑤ 完成写真

⑥ 完成図その他

⑦ 施工図等

⑧ 工事実績情報の登録

1.7. 総合調整

⑨ 説明書等

⑩ 図形表示

2.1. 負担金等

2.2. 電線類

⑪ 塗装

2.3. 機器付属の制御盤

⑫ 装

2.5. 景

2.6. 防振継手

2.7. 防振継手

2.8. 弁

2.9. 埋設表示

⑬ 補修工事

⑭ 補修工事

本工事に必要な工事用電力、水などの費用は請負者の負担とする。
官公庁への請求手続きなどの費用は請負者の負担とする。
構内につくることができない
イ) 埋戻し土は ※ 掘り出し中の良質土(セメント管以外の管の周囲は山砂の混入)
山砂の類
ロ) 残土処分は ※ 構内に搬出し適切に処理(約 1km) 構内敷きならし
構内に搬出する場所に搬移
引取を要するもの。 ※ 無し・有り()
特許取得建築物 ※ 無し・有り()
再生資源の利用を図ると指定されたもの ※ 無し・有り()
引取しを要するもの以外は構内処理とし、搬出及び埋戻しは別途とする。
建設大臣官庁審判部認定「工事写真の取り方(改訂版)第一版(建築設備編)」によるほか、監督職員の指示による。
下記のものを原簿にも監督員に提出する。

Table with columns: 分類, 規格, 枚数, 部数, 原簿の大きさ(mm)

共通仕様書による完成図その他を監督員に提出する。提出部数 3部
完成図はCADにより作成し、CADデータをMOまたはFD等に提出する。
施工図の照会及び補遺等(1部)を監督員に提出する。なお、当該建物の取得する施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。(FDにて提出)
○ 要 不要
下記項目の総合調整を行ない測定書を監督員に提出する。(2部)
・ 質量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温度測定 ・ 騒音の測定
・ 室内空気及びじん素の測定 ・ 浄化槽の放流水水質
測定箇所等は監督員の指示による。
監督員と協議の上、設備機器及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書を作成する。
機器類は、図示する形状及び配管等の取付位置により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
イ) 電動機出力、燃料消費量等は、原則として表示された値以下とする。
ロ) 機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。
※ 給水引込負担金(加入金及び納付金を含む) (・ 本工事・ 別途) 円
※ ガス引込負担金 (・ 本工事・ 別途) 円
※ 下水道管埋設負担金 (・ 本工事・ 別途) 円

Table with columns: 呼称, 記号, JCS規格, 名称

ロ) EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様にする。

Table with columns: 記号, 仕様

ハ) EMケーブルの電線の色別は、原則として建設大臣官庁審判部認定の電気設備共通仕様書(平成9年版)による。

共通仕様書によるほか下記による。
・ ボイラー及び冷凍機等の付属品(給動スイッチ)次に従って標準測定用の電線径を定める。
接続及び端子は、共通仕様書を ※ 適用する。
インシュレーター等の付属品は、共通仕様書を ※ 適用しない。
機器取付による下記の書類、設置等の要領メッキを施した配管、ダクト及び支持金具・ダクト構成部材の塗装は行わない。
○ 中央集塵室 ○ 各層集塵室 ○ 塵降
・ 電気室 ・ 自家発電

イ) 暖房熱源装置室内の配管の保護材で、ポリスチレンフォーム保護材とあるものは同じ施工種別のロックウールまたはグラスウール保護材を使用する。
ロ) 冷媒管の保温外皮は 室内露出 ・ 織布 ・ 保温化粧ケース
屋外露出 ・ ステンレス製板 ・ 保温化粧ケース
材質は ・ 塩化ビニル樹脂製 ・ アルミ合皮製 ・ 銅板製 ・ ステンレス鋼板製

ハ) 共同溝の設置種別
ニ) 全線全管の埋設ダクト(・ 埋設外気筒 ・ 埋設室内側)は、径(25mm)とする。
ホ) 埋設埋設ダクトの断熱(埋め込み)は、h(1) (・ 有り)
※ 合成樹脂(発熱) ・ ポリチトラフルオロエチレン製 ・ ペロ-ス製(ステンレス製)
※ ペロ-ス製 ・ スリテープ製
ステンレス製に使用するバルブはS O A以下は青銅製、6 O A以上はステンレス製を使用する。
共通仕様書によるほか図示の箇所を除く。(機械 2)
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
工事の施工に伴い既成部分を汚染または破壊した場合、既成ならぬ補修工事

⑬ 支持金具・固定金具

3.3. 配管の建物透入部

3.4. 異種管の接続

3.5. ポンプの電動機

⑭ 配管の防振

⑮ 配管の防振

⑯ 撤去工事

⑰ 天井仕上区分

⑱ 工事安全計画書

○ 空気調和・暖房・換気設備

1. 設計用気象条件

Table with columns: 外気条件, 室内(調整目標値)

2. 冷水・温水・冷凍水・ドレン

3. 冷却水

4. 配管・空気・給排水

5. 蒸気給気

6. 蒸気排水

7. 油・油圧油

8. 冷媒

9. 弁

10. ファンコイルユニット

11. 天井裏り部(CU)及び全熱交換機換気

12. 放射熱

13. 吹出ロ・吸込ロ

14. ダクト

15. 防煙・防火ダンパー

16. チャンバー等

17. 消音内貼り

18. グリス除去装置

19. 瞬間流量計及び流量測定ロ

ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製(SUS304)とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金具等はステンレス製(SUS304)とする。
凍結を防止するは ※ 2種35 ・ 2種50
(・ 給水 ・ ガス ・ 油)配管の位置取付は標準図 施工4とし設置箇所は図による。
標準図施工3による。設置箇所は図による。
図面がポンプの機器表に特記無き場合は、4種以上とする。
機器表に特記のない場合は別紙「工事区分表」による。
「官庁検査の合格前計画書及び開業届(平成9年版)(建設大臣官庁審判部認定)」によることとし、図には「建設大臣官庁審判部認定(平成9年版)(建設大臣官庁審判部認定)」による。
建物の種別 ・ 特定の施設
重要機器(・ 防災機器 ・ 火災を使用する機器 ・ タンク類)
○ ガス配管 ・ ガス配管以外()
事後検査の適用 ※ 無し
・ 有り(・ 放射線透過検査 ・ 浸透検査または放射性検査)
抜取率は ・ 共通仕様書による。
除去する配管、ダクトの保護は取り外す。
75 A未満の継手は ・ 溶接結合 ・ メカニカル結合 ・ フランジ結合
排水用塩化ビニル樹脂管の上中継継手は防食処理を行う。
() 書きの記号は天井裏りせず、その他は天井裏りとする。
建設工事安全計画書は別紙「建設工事安全計画書」を参考に、工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。

※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ ステンレス鋼管(SUS304)
※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 塩化ビニル樹脂管 ・ ポリカーボネート管
※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ ステンレス鋼管(SUS304)
※ 配管用炭素鋼管(黒管)
※ 圧力配管用炭素鋼管(STPG370 黒sch40)
※ 配管用炭素鋼管(黒管)
※ 断熱材被覆鋼管(製造標準品) ・ 鋼管
JISSKとする。ただし、特記部分JISSKとする。
※ 流量調整弁
定流量弁(・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジリフィス)を取付ける。
イ) カセットの流量調整ダクトは、自己消火性のポリスチレンフォームでもよい。
ロ) 遠方操作スイッチのフローラングは全金属製(ステンレス、新金属も含む)とする。
イ) 放熱機及び排気機の排気口はラップを取付ける。
ロ) 蒸気給気管を ・ 取付ける ・ 取付けない
イ) アルミニウム製は塗装を ※ 行う ・ 行かない
ロ) 吸込ロGVFSは防炎シッター付吸込ロとする。
イ) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト
ロ) 矩形ダクトは ※ アンクルフランジ 工法
・ コーギーボルト工法 ・ 共振工法 ・ スライドオンフランジ工法)
(長さ1500mmを超えるものはアンクルフランジ工法とする。)

ハ) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mm±1.6mm厚鋼板製とする。
ニ) 厨房ダクトの取付は「火災予防条例」の運用については適用する。
イ) 防煙ダンパーは ※ 電気式 ・ 空気式 標準仕様 ※ 遠隔式 ・ 手元式
ロ) 電気式防煙ダンパーの動作電圧、電流はDC24V・0.6A以下とする。
イ) 構造図に示す長さは、長さ1000×300の防煙ダンパーとする。
ロ) シーリングディフューザーの仕様は(図 4.1)による。
施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。
ハ) 外壁に面するガラスにダンパー等を設ける場合には原則として防水を考慮する。
ロ) 吹出ロ接続ダンパー及び吸込ロダクト並びにダンパー類とする。
ロ) 内貼りダンパー類の寸法は、仕様書とする。
ハ) 吹出ロ接続ダンパー以外の内貼りしたダンパーには点検口を取付ける。
点検口の寸法は、原則として400×600とする。
・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター
イ) 形式はボックス型(コック付)とする。 ・ 箱形式
ロ) 下記の箇所、若しくは図面により取付ける。

1. 設計用気象条件

2. 冷水・温水・冷凍水・ドレン

3. 冷却水

4. 配管・空気・給排水

5. 蒸気給気

6. 蒸気排水

7. 油・油圧油

8. 冷媒

9. 弁

10. ファンコイルユニット

11. 天井裏り部(CU)及び全熱交換機換気

12. 放射熱

13. 吹出ロ・吸込ロ

14. ダクト

15. 防煙・防火ダンパー

16. チャンバー等

17. 消音内貼り

18. グリス除去装置

19. 瞬間流量計及び流量測定ロ

空気調和・暖房・換気設備	20. 定流量・変流量ユニット	・ 冷凍機側の冷水出口 ・ 冷凍機側の冷却水出口 ・ ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 冷水水ヘッダの各送水室 ・ ユニツト形空調機側の冷水水入口	・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
	21. 温度計	・ メカニカル形 ・ 風速センサー形 標準図によるほか示した箇所を除き、必要に応じて下記の箇所に取り付ける。 ・ ユニツト形空調機側の送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト。	
	22. 圧力計	・ 機器付属品の温度計 ※ 工業用ハイメタル式温度計 ・ ガード付き形温度計 指示し箇所に取り付ける	
	23. 冷水配管等の空気抜き	・ 空気漏れを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて条件の容易な検査に空気抜き弁 装置（※ 手動・自動）を設ける。 D) 自動空気抜き弁装置は、施工30（g）になる。 イ) 長さ ※ 3、2mm ・ 4、5mm ロ) 蝶形蓋設計 ・ 取付けない ・ 取付けたる取付ける ハ) 蝶形蓋測定口（80φ×2）を ※ 取付けない ・ 取付けない イ) 液面制御装置の機能は下記による。 ・ 給油ポンプの起動、停止 ・ 減油ポンプの起動、停止 ・ 減油監視 ロ) 油面計はゲージ式（側圧式）とする。 ハ) 減油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは、過満警報点とする。 ※ 設ける（指示した箇所に取り付ける） ・ 設けない	
	24. 煙道		
	25. オイルサービスタンク		
	26. 油計算装置 27. 地下オイルタンク		
28. フィルターの予備品	・ 空気ろ過機等又はフィルターチェンジャーの設置枚数の50%を予備品（付付）として納める。 但し自動巻取り形及びグリッドフィルターの場合は100%とする。 送風機の防塵基礎 防塵材（・ ゴム ・ 金属メッシュ） 法令及び規程基準の規定に基づき設置する。 屋外に放出するよう設ける。 形式 ・ R- 22（ ） ・ R-（ ） 形式 ・ 燃費式 ・ 液管式		
29. 防振基礎 30. 冷凍機の安全弁等のガス放出管 31. 高気圧側安全弁放出管 32. 冷媒ガス 33. 塵だまり吸着冷凍機			

○ 排煙設備	1. 一般事項 2. ダクト 3. 排煙口	空調、暖房、換気の当該事項を適用する。 ※ 高圧ダクト ・ 高圧ダクト ※ 煙道接続製 ・ 接続製 イ) 形状 ・ 可動可取 ・ 可動パネル ロ) 開口装置は ・ 手動 ・ 手動及び遠隔操作の可能なもの	
	○ 自動制御設備	1. 中央監視制御装置 2. 電源装置 3. 温度調節器等 4. 計装工事の記録	・ 有り（構成機能は指示による） ・ 無し ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ・ 不要 取付高さ ※ 1300mm イ) 屋外、屋内露出の配管は、露面に特設のいりない金属管配管とする。 ロ) 原則として、次の用途に使用する電線等はEMケーブルとし、規格は一般共通事項 22.電線の規格による。（機器、盤類はこれに限りなくともよい） 用途 ①電源線、排煙機 の電気の調節器（サーモヒューズヒューズ）用電線 ②各種検出器（温度・湿度等）、操作器（バルブ・ダンパー等）における弱電信号、 通信線を除く制御線
	○ 衛生器具設備	1. 大便器・小便器 2. 小便器用洗浄配管 3. 小便器用洗浄水排水装置 4. 自動水栓 5. 手洗い器・洗面器 6. 水石けん入れ 7. 化粧鏡 8. 和風大便器の耐火処理	陶製の注意銘を取付ける。（ ・ 機器銘に不要と特記された器具は除く） ※ 埋込形 ・ 露出形 ※ 個別感知方式（電源供給方式 ・ AC100V ・ 乾電池） 工事範囲は、電気1次側配管配線を除き全て本工事とする。 電源供給方式 ・ AC100V ・ 乾電池 器具規格品（JIS記号等）の末尾記号Sは、水石けん入れ付を示す。 ※ 陶器形 ※ 埋込形 ※ 露出形 ・ 埋込形 標準図（施工61）の ※ ② ・ ③

○ 給湯設備	1. 配管材料 2. 弁類 3. 湯沸器	※ 低温付被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ ステンレス鋼管 ※ JIS SKとす。ただし、水道接続部分及び特記部分はJIS10Kとする。 湯沸器には換気ファン連動装置を設けるものとし、別途電気工事と協定し接続し湯沸器にあっては本体に付属する水圧スイッチで行うものとする。 また、ガスコンロを使用する場合には「ガスコンロを使用する場合は、手動スイッチにより燃焼機を運転すること」と記載し注意銘を設ける。
	○ 消火設備	1. 消火栓弁の耐圧 2. 配管材料 3. 探温 4. 屋外消火栓箱・ホース格納箱 5. 新ガス系消火剤の種類 6. 二酸化炭素消火の起動方式 7. 新ガス系消火の起動方式

○ ガス設備	① 配管材料 2. 液化石油ガス容器 3. ガスマネージャー 4. 容易通り配管 5. 容易通り配管 6. ガス漏れ警報器	イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管（白管） ロ) 土中配管用 ※ 外面被覆鋼管（土間を含む） ・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本 備用 ・ 買取り メーカークラスはガス供給事業者より借用、子メーカークラスは買取りとする。 ※ 自動切替式 施工方法は標準図（施工67）の ・ 施工要領（a） ・ 施工要領（b） 配管方法は標準図（施工67）の ・ 施工要領（a） ・ 施工要領（b） ※ 不要 ・ 要（取付寸法は図による。外掛出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ・ 別途電気工事 都市ガスはガス供給事業者の供給規定による。
	⑦ その他	

○ 給水設備	1. 量水器 2. 量水器側 3. 配管材料	イ) 読メーター ※ 借用 ・ 買取り ロ) 子メーター ※ 買取り ・ 借用 イ) 読メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図（機材62） ロ) 子メーター用 ※ 標準図（機材62） ・ 水道事業者の指定品 イ) 一般配管用 ・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ ステンレス鋼管（SUS316） ・ 塩化ビニル鋼管（SGP-V）（SGP-FVA）（K-V-A） ・ ポリ粉体鋼管（SGP-PA）（SGP-FPA）（K-PA） ロ) 土間配管用 ・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ ステンレス鋼管（SUS316） ・ 塩化ビニル鋼管（SGP-V）（SGP-FVD）（K-V-D） ・ ポリ粉体鋼管（SGP-P）（SGP-FPD）（K-P-D） ・ 水道用ポリエチレン管 水道用配水用ポリエチレン管 ・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ ステンレス鋼管（SUS316） ・ 塩化ビニル鋼管（SGP-V）（SGP-FVD）（K-V-D） ・ ポリ粉体鋼管（SGP-P）（SGP-FPD）（K-P-D） ・ 水道用耐衝撃性塩化ビニル管（HIVP） ・ 水道用ポリエチレン管 水道用配水用ポリエチレン管
	○ し尿浄化槽設備	1. 処理種別及び方式 2. 形式 3. 処理能力 4. 放流水の水質

給水設備	4. 弁類	ニ) ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ・ ゴム輪接合 ホ) ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ・ 融着継手 ・ 金属製継手 75A以上 融着継手 ハ) ゴム輪接合の場合、重要以外の継手部には難燃防止金具取付とする。 ト) 特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 チ) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確保を行う。 電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン 遊離酸、塩素イオン、総鉄イオン、シリカ、高硬度物質 イ) 公定水圧に適合する配管に使用するものは、JIS10Kとする。 ロ) 高圧ダクト以外の配管に使用するものは、JIS SKとする。 ただし、特記部分はJIS10Kとする。 イ) 給水配管の ・ 止水栓 ・ 弁類 は水道事業者の指定品とする。 鋼板製、ステンレス製タンクの保護 ・ 施工する ・ 施工しない ・ 共通仕様による（付属品含む） ・ 水道事業者指定品 ※ 合成樹脂製 ・ 人造石と出仕製 ・ アルミニウム合金製 イ) 屋外の水栓は、キー式ハンドル ロ) 台所流し用の水栓は湯沸式とする。 屋外に設置するFRP製水栓のマンホールは、二重蓋（複合板）とする。	
	5. 保温		
	6. 定水位調整弁		
	7. 水栓柱		
	8. 水栓		
	9. FRP製タンクのマンホール		
	○ 排水設備	1. 配管材料 2. 煙試験 3. グリース格納箱	イ) 屋内汚水管 ・ メカニカル形排水鋼管（1種管） ・ メカニカル形排水鋼管（2種管） ・ コーティング鋼管（※ タルエポキシ ・ 塩化ビニル） ・ 鉛管 ・ 排水用塩化ビニル鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ロ) 屋内排水鋼管（白管） ・ 鉛管 ・ コーティング鋼管（※ タルエポキシ ・ 塩化ビニル） ・ 排水用塩化ビニル鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 湯沸し等の箇所より排出する硬質塩化ビニル管（VU）でもよい。 ・ 合流式の40A以下の配管はコーティング鋼管を使用する。 ハ) 通気管 ※ 配管用炭素鋼管（白管） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ニ) 屋外排水管 ・ 速心力鉄筋コンクリート管 ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） ・ 行わなくてもよい ・ 工機製作品（ ・ SUS製 ・ 鋼製製 ・ FRP製） ・ 現場施工品 ・ 耐火保護 ・ 施工61（a）を施工する。 ・ 施工しない

○ 給湯設備	1. 配管材料 2. 弁類 3. 湯沸器	※ 低温付被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ ステンレス鋼管 ※ JIS SKとす。ただし、水道接続部分及び特記部分はJIS10Kとする。 湯沸器には換気ファン連動装置を設けるものとし、別途電気工事と協定し接続し湯沸器にあっては本体に付属する水圧スイッチで行うものとする。 また、ガスコンロを使用する場合には「ガスコンロを使用する場合は、手動スイッチにより燃焼機を運転すること」と記載し注意銘を設ける。
	○ 消火設備	1. 消火栓弁の耐圧 2. 配管材料 3. 探温 4. 屋外消火栓箱・ホース格納箱 5. 新ガス系消火剤の種類 6. 二酸化炭素消火の起動方式 7. 新ガス系消火の起動方式

○ ガス設備	① 配管材料 2. 液化石油ガス容器 3. ガスマネージャー 4. 容易通り配管 5. 容易通り配管 6. ガス漏れ警報器	イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管（白管） ロ) 土中配管用 ※ 外面被覆鋼管（土間を含む） ・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本 備用 ・ 買取り メーカークラスはガス供給事業者より借用、子メーカークラスは買取りとする。 ※ 自動切替式 施工方法は標準図（施工67）の ・ 施工要領（a） ・ 施工要領（b） 配管方法は標準図（施工67）の ・ 施工要領（a） ・ 施工要領（b） ※ 不要 ・ 要（取付寸法は図による。外掛出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ・ 別途電気工事 都市ガスはガス供給事業者の供給規定による。
	⑦ その他	

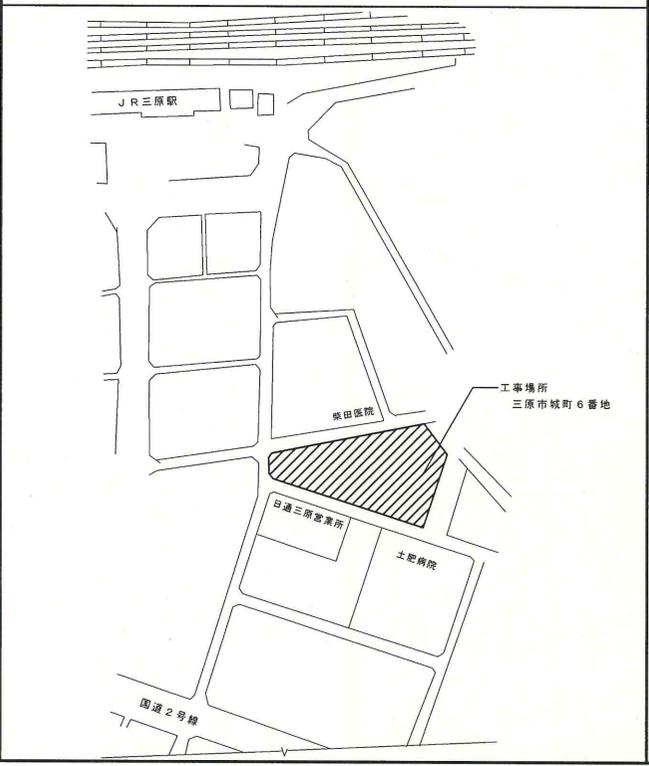
○ し尿浄化槽設備	1. 処理種別及び方式 2. 形式 3. 処理能力 4. 放流水の水質	・ 単独処理（ ・ 分種接触ばっ気方式 ・ 分種ばっ気方式） ・ 小規模合併処理（ ・ 分種接触ばっ気方式 ・ 連続ろ過接触ばっ気方式） ・ 合併処理（ ・ 回転接触ばっ気方式 ・ 接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式） ※ ユニツト形 ・ 現場施工形 処理対象人員 人 ・ 処理水量 m ³ /d ・ 流入BOD濃度 mg/l BOD 90 ・ 60 ・ 30 ・ 20 ・ 10 mg/l以下 mg/l以下
	○ 給水設備	1. 量水器 2. 量水器側 3. 配管材料

○ 機械式駐車設備	1. 構造 2. 駐車方式 3. 運基数 4. 車間寸法 5. 最大積載荷重 6. 電源・容量 7. 運転方式 8. 安全装置 9. 附属装置	※ 共通仕様適合品 ・ 製造者標準品 ※ 二段方式 ・ 多段（ ） 段方式 ※ 昇降式 ・ 昇降横式 ・ 昇降ピット式 ・ 昇降横式ピット式 運 台 長さmm ・ 4,700 ・ 5,000 ・ 5,300 ・ 5,750 幅 mm ・ 1,700 ・ 1,800 ・ 1,900 ・ 2,050 高さmm ・ 1,550 ・ 2,000 ・ 1,500kg ・ 1,700kg ・ 2,200kg ※ 3φ200V ・ 1φ100V _____ kw 同時動作 _____ 運転 ※ 押しボタン方式 ・ 自動方式 ※ 二段方式の「自動停止装置」を除く ・ 出庫警報装置を ・ 取りやめる 構造図の設計用水平断面図
-----------	---	---

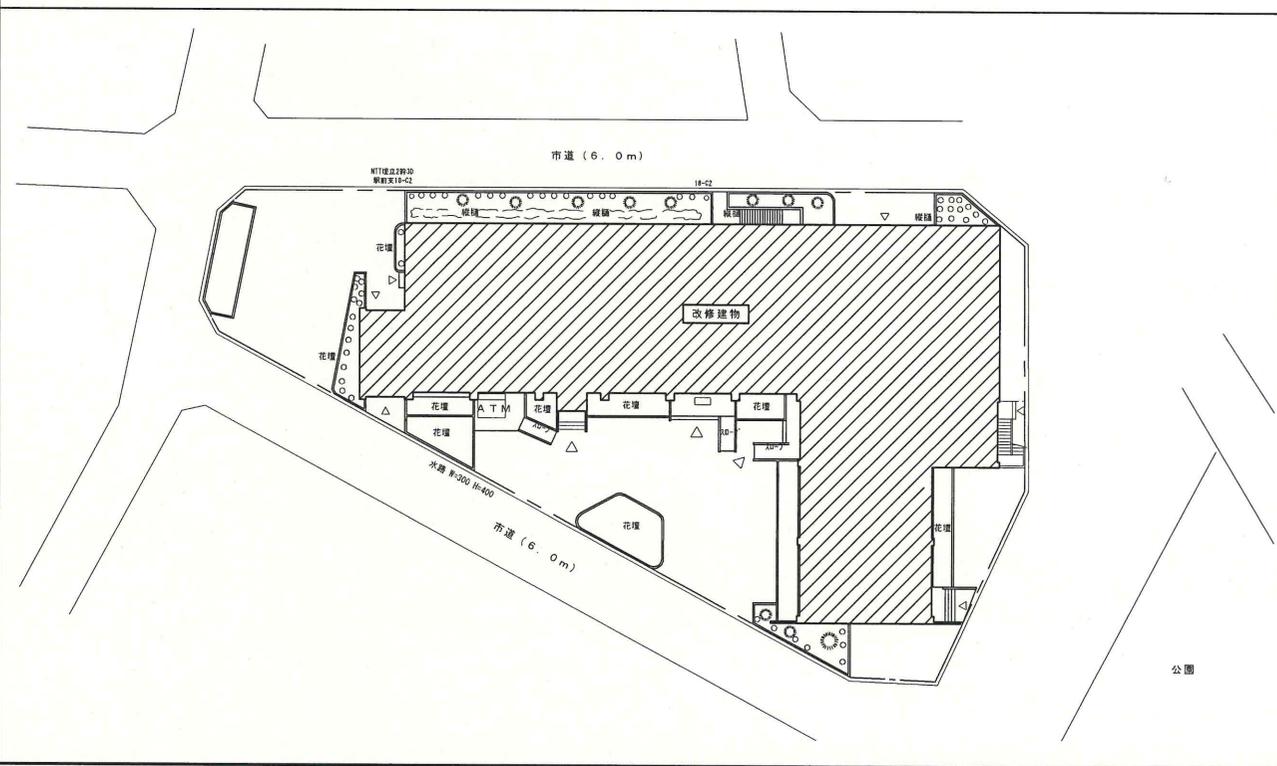
建設大臣官庁管理官庁事務部監修の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（平成12年版）」記載機材表		
項目	機材名	備考
弁及び継手	減圧弁・温度調整弁 融着継手（ペロー形、スリーブ形） 一般配管用ステンレス鋼管	
ボイラー	積炭脱ボイラー 給湯用蒸気ボイラー	
温水発生機	高気圧温水発生機（鋼製・鉄製） 無圧式温水発生機（鋼製・鉄製）	
冷凍機	チリングユニット（空気熱源ヒートポンプユニットを含む） 直圧式吸着冷凍機 小形吸着冷凍機ユニット	
冷却塔	冷却塔	
空調機	ユニツト形空調機 ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット パッケージ型空調機（電動式） コンパクト型空調機	
空気清浄装置	ガスエンジン式パッケージ型空気清浄機 エアフィルター（パネル形、折形、膜形） 自動吸着型エアフィルター	
全熱交換器	電気集じん器 全熱交換器（回転形、静止形） 全熱交換ユニット	
送風機	通心送風機（多翼形送風機） 斜流送風機 軸流送風機 軸流送風機	
ポンプ類	消音ポンプ付送風機 軸流送風機 軸流送風機	
ダクト付品	水中モーターポンプ（汚水用、雑排水用、汚物用） 立式連動ポンプ 吹出口・吸込口 換気ユニット（定流量・変流量）	
自動制御	自動制御システム 自動制御システム	
衛生器具ユニット	衛生器具ユニット	
タンク	FRP製パネルタンク 鋼板製パネルタンク 樹脂製パネルタンク 樹脂製パネルタンク	
消火装置	スプリンクラー消火システム 二酸化炭素消火システム 消火システム マンホールふた・弁類ふた	
鉄線製ふた	マンホールふた・弁類ふた	
精定事項等		

メーカーリスト	
機材名	製作所名
換気給湯器	ノーリツ
	リンナイ
	パナソニック
	パロマ

付近見取図



配置図 1/300



凡 例

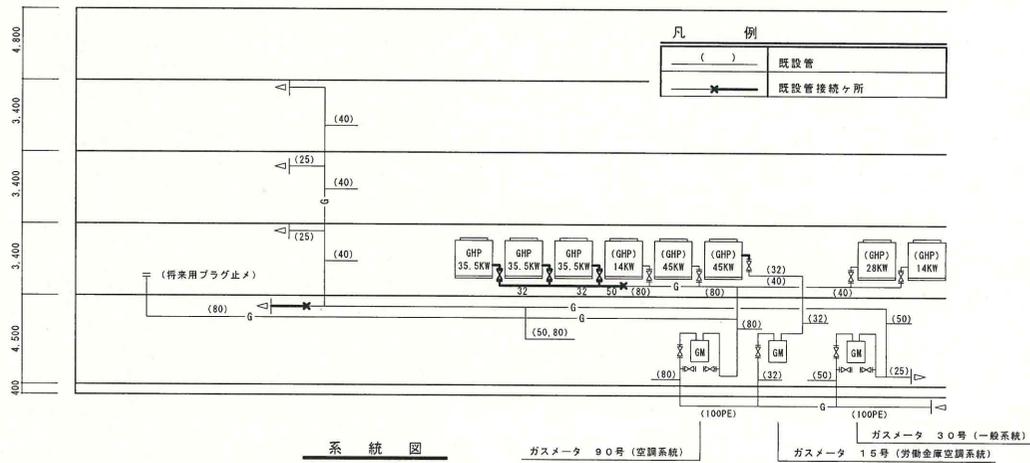
記号	名称	管理	規格	備考
—○—	都市ガス管	配管用炭素鋼鋼管	白管 JIS G 3452	屋外露出部分は塗装仕上とする。

特記事項

- ダイヤモンドコア抜きの増は、課負金額内にて施工する。
- 図示無き機器・配管等で係員の指示するものは撤去処分すること。

凡 例

()	既設管
—X—	既設管接続ヶ所



系 統 図

ガスメータ 90号 (空調系統) ガスメータ 30号 (一般系統)
 ガスメータ 15号 (労働金庫空調系統)

市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事) 設計図

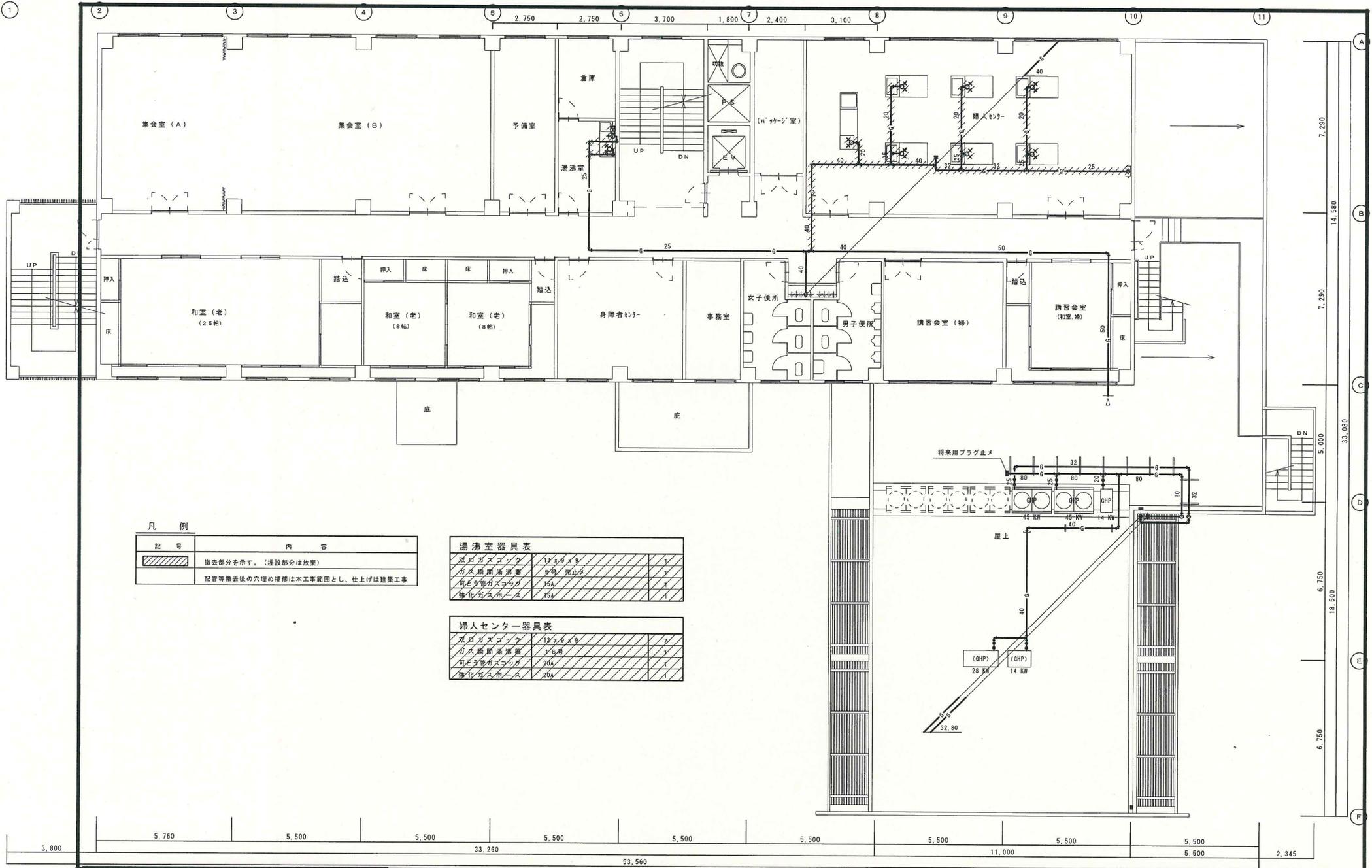
Date

図面名称

付近見取図 配置図 系統図

Scale 1/300

No. G-3



凡例

記号	内容
	撤去部分を示す。(埋設部分は放棄)
	配管等撤去後の穴埋め補修は本工事範囲とし、仕上げは建築工事

湯沸室器具表		
双口ガスコンロ	13/16 x 9	1
ガス湯沸器	9号 元山	1
可とうガスコンロ	35A	1
単口ガスボイラ	15A	1

婦人センター器具表		
双口ガスコンロ	13/16 x 9	2
ガス湯沸器	16号	1
可とうガスコンロ	20A	1
単口ガスボイラ	20A	1

市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)

設計図

図面名称 2階平面図 (改修前)

Date

Scale 1/100

No. G-5

<p>空気調和・暖房・換気設備</p> <p>20. 定流量・変流量ユニット</p> <p>21. 風 度 計</p> <p>22. 圧 力 計</p> <p>23. 冷凍水等の空気抜き</p> <p>24. 煙 道</p> <p>25. オイルサービスタンク</p> <p>26. 油 積 算 量 計</p> <p>27. 地下オイルタンク</p> <p>28. フィルターの予備品</p> <p>29. 防 塵 装 置</p> <p>30. 冷凍機の安全弁等のガス放出管</p> <p>31. 蒸気ボイラー安全弁放出管</p> <p>32. 冷 媒 ガ ス</p> <p>33. 直 接 吸 収 冷 媒 水 漏 漏</p>	<p>・ 冷凍機種の冷水出口</p> <p>・ 冷凍機種の冷却水出口</p> <p>・ ボイラー又は熱交換器の温水出口</p> <p>・ 冷凍水ヘッダーの各排水</p> <p>・ ユニット形空調機種の冷水温水入口</p> <p>・ メカニカル形</p> <p>・ 風速センサー形</p> <p>・ 標準型によるほの標準した箇所及び起の箇所に取り付ける。</p> <p>・ ユニット形空調機種の送風ダクト、排気ダクト及び給気ダクト。</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>機器付属以外の温度計は ※ 工業用メタメル温度計 ・ ガード付き熱温度計 指示した箇所に取付ける。</p> <p>イ) 空気漏れを生ずると思われる設置箇所には、必要に応じて作業者の容易な位置に空気抜き装置 (※ 手動 ・ 自動) を取付ける。</p> <p>ロ) 自動空気抜き装置は、施工30 (g) による。</p> <p>ハ) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm</p> <p>ロ) 煙管温度計 ・ 取付け可 ・ 取付け不可 ・ 取付け可</p> <p>ハ) 煙じん集溜出口 (φ60×2) を ※ 取付け可 ・ 取付け不可</p> <p>イ) 液面制御装置の機能は下記による。</p> <p>・ 給油ポンプの起動、停止</p> <p>・ 送油ポンプの起動、停止</p> <p>・ 減油警報</p> <p>・ 減油警報</p> <p>・ 送油警報</p> <p>・ 送油警報</p> <p>ロ) 油面計はゲージ式 (視式) とする。</p> <p>ハ) 送油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上層フロートは、通過検出点とする。</p> <p>※ 取付ける (指示した箇所に取付ける) ・ 取付けない</p> <p>イ) 取付け方法は標準 ※ 施工24 (タンク室有) ・ 施工25 (タンク室無し)</p> <p>ロ) タンクの保護被覆は ※ アスファルト ・ モルタル ・ エポキシ樹脂</p> <p>ハ) 送油機指示装置 (電気式) (※ 屋内 ・ 屋外) 屋外は保護被覆を取付ける。</p> <p>ニ) 高層機は ※ 不要 ・ 要 (但し給気 ※ 別途工事 ・ 本工事)</p> <p>ホ) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要 (※ 本工事 ・ 別途工事)</p> <p>空気調和機等又はフィルターチャンバーの設置枚数の50%を予備品 (持付) として納める。</p> <p>但し自動吸引形及び グリスフィルターの場合は100%とする。</p> <p>30. 冷凍機の安全弁等のガス放出管 法令及び施設基準に準拠し取付ける。</p> <p>31. 蒸気ボイラー安全弁放出管 標準に取付ける。</p> <p>32. 冷 媒 ガ ス R-22 () ・ R- ()</p> <p>33. 直 接 吸 収 冷 媒 水 漏 漏 形式 ・ 構造式 ・ 液管式</p>	<p>二) ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ・ ゴム輪接合</p> <p>ホ) ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ・ 融着継手 ・ 金属製継手 75A以上 ・ 融着継手</p> <p>ヘ) ゴム輪接合の場合、直着以外の継ぎ手前には難燃防止金具取付とする。</p> <p>ト) 特記な給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>チ) ステンレス鋼管を使用する場合は下の水の確認を行う。</p> <p>電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン遊離炭酸、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、高純度物質</p> <p>イ) 公室水道に直結する配管に使用するものは、JIS10Kとする。</p> <p>ロ) 高層タンク以降の配管に使用するものは、JIS10Kとする。</p> <p>ただし、特記部分にはJIS10Kとする。</p> <p>ハ) 配管材料は (※ 注記) ・ 併用は水道事業者の指定品とする。</p> <p>配管材料、ステンレス製タンクの保護 ・ 加工しない</p> <p>・ 共通仕様による (付録表含む) ・ 水道事業者指定品</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ 人達石と出鋼 ・ アルミニウム合金製</p> <p>イ) 配管の水栓は ・ キーハンドル</p> <p>ロ) 台所流し用の水栓は泡流しとする。</p> <p>屋外に設置するFRP製水栓のマンホールは 二重蓋 (複合蓋) とする。</p>
	<p>給 水 設 備</p> <p>4. 弁 類</p> <p>5. 保 水 温 度</p> <p>6. 電 位 漏 検 査 弁</p> <p>7. 水 栓 柱</p> <p>8. 水 栓</p> <p>9. FRP製タンクのマンホール</p>	<p>一) 配管材料</p> <p>イ) 屋内汚水管 ・ メカニカル形排水鋼管 (1種管) ・ メカニカル形排水鋼管 (2種管)</p> <p>・ コーティング鋼管 (※ タールエポキシ ・ 塩化ビニル) ・ 鉛管</p> <p>・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管 (VP)</p> <p>ロ) 屋内排水管</p> <p>・ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 鉛管</p> <p>・ コーティング鋼管 (※ タールエポキシ ・ 塩化ビニル)</p> <p>・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管 (VP)</p> <p>・ 清潔度等の床上高出部分には硬質塩化ビニル管 (VU) でもよい。</p> <p>・ 全管径の40A以下の管はコーティング鋼管を使用する。</p> <p>ハ) 通気管 ※ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 硬質塩化ビニル管 (VP)</p> <p>二) 屋外排水管</p> <p>・ 硬質塩化ビニル管 (VU再生管) ・ 硬質塩化ビニル管 (VP)</p> <p>・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)</p> <p>・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)</p> <p>・ 行ななくてもよい ・ 指示の系統のみ行う</p> <p>・ 工場製品 (※ SUS製 ・ 鋼製鋼管 ・ FRP製) ・ 現場施工品</p> <p>・ 耐火被覆 ・ 施工61 (a) を施工する。 ・ 施工しない</p>
	<p>排 水 設 備</p> <p>1. 配 管 材 料</p> <p>2. 弁 類</p> <p>3. 溝 溝 器</p>	<p>一) 配管材料</p> <p>※ 保通排水鋼管 ・ 鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ ステンレス鋼管</p> <p>※ JIS5Kとする。ただし、水道接続部分及び特記部分はJIS10Kとする。</p> <p>溝溝器には換気ファン連動装置を設けるものとし、別途電気工事との接続は開閉式溝溝器にあっては本体に付属する水圧スイッチで行うものとする。</p> <p>また、ガスコンロを使用する場合には「ガスコンロを使用する場合は、手動スイッチにより溝溝器を運転すること」と記載した注意書を設ける。</p>
	<p>給 湯 設 備</p> <p>1. 一 般 事 項</p> <p>2. タ ン ク</p> <p>3. 排 煙 口</p>	<p>※ JIS10K ・ JIS16K</p> <p>イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白管)</p> <p>ロ) 土中配管用 ※ 外面被覆鋼管</p> <p>(土管を含む)</p> <p>イ) 貯水タンクの保護 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>ロ) 貯水タンクの保護 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>ハ) 消火配管の保護は次のとおり。</p> <p>・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結給水 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結給水 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>4. 屋外消火栓・ホース接続箱</p> <p>※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>5. 新ガス系消火剤の種類</p> <p>※ 1G-541 ・ 窒素 ・ HFC-227aa ・ HFC-23</p> <p>6. 二酸化炭素消火剤の駆動方式</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p> <p>7. 新ガス系消火剤の駆動方式</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p>
<p>排 煙 設 備</p> <p>1. 一 般 事 項</p> <p>2. タ ン ク</p> <p>3. 排 煙 口</p>	<p>空調、暖房、換気の当該事項を適用する。</p> <p>※ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト</p> <p>※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製</p> <p>イ) 形状 ・ 可動羽根 ・ 可動パネル</p> <p>ロ) 開放装置は ・ 手動 ・ 手動及び遠隔操作の可能なもの</p>	
<p>消 火 設 備</p> <p>1. 中 央 監視制御装置</p> <p>2. 電 源 装 置</p> <p>3. 遠 隔 操 縦 等</p> <p>4. 計 装 工 事 の 配 線</p>	<p>・ 有り (構成機器は指示による) ・ 無し</p> <p>・ 要 (※ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要</p> <p>取付高さ ※ 1300mm</p> <p>イ) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。</p> <p>ロ) 原則として、次の用途に使用する電線種別はEケーブルとし、規格は一般共通事項 22.電線種の規格による。(線種、規格はこれにらなくてもよい)</p> <p>用途: ①電線種、排煙線</p> <p>②電気式の調節器 (サーモ・ヒューミデイ等) 用電線</p> <p>③各種検出器 (温度・湿度等) ・ 操作器 (バルブ・ダンパー等) における幹電線等。</p> <p>遠隔線を除く制御線</p>	
<p>給 湯 設 備</p> <p>1. 大 浴 室 ・ 小 便 器</p> <p>2. 小便器用洗浄配管</p> <p>3. 小便器用洗浄排水水栓装置</p> <p>4. 自 動 水 栓</p> <p>5. 手洗い器・洗面器</p> <p>6. 水 石 け ん 入 れ</p> <p>7. 化 粧 鏡</p> <p>8. 相 当 大 浴 室 の 耐 火 処 理</p>	<p>図表の注意書を取付ける。(※ 図表に不要と特記された器具は除く)</p> <p>※ 埋込形 ・ 露出形</p> <p>※ 個別駆動方式 (電源供給方式 ・ AC100V ・ 乾電池)</p> <p>工事範囲は、電気1次配管設置検査合格まで本工事とする。</p> <p>電源供給方式 ・ AC100V ・ 乾電池</p> <p>図表の器具名 (JIS記号等) の実取付品は、水石けん入付を示す。</p> <p>※ 陶器形等 ・ 壁付形</p> <p>※ 露出形 ・ 埋込形</p> <p>標準品 (施工61) の ※ ② ・ ③</p>	
<p>衛 生 器 具 設 備</p> <p>1. 大 浴 室 ・ 小 便 器</p> <p>2. 小便器用洗浄配管</p> <p>3. 小便器用洗浄排水水栓装置</p> <p>4. 自 動 水 栓</p> <p>5. 手洗い器・洗面器</p> <p>6. 水 石 け ん 入 れ</p> <p>7. 化 粧 鏡</p> <p>8. 相 当 大 浴 室 の 耐 火 処 理</p>	<p>イ) 視メーター ※ 借用 ・ 買取り</p> <p>ロ) ゾームメーター ※ 買取り ・ 借用</p> <p>イ) 視メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準品 (規格62)</p> <p>ロ) ゾームメーター用 ※ 標準品 (規格62) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>イ) 一般配管用 ※ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ ステンレス鋼管 (SUS316)</p> <p>・ 塩ビライニング鋼管 (SGP-V) (SGP-FVA) (K-V)</p> <p>・ ポリ粉体鋼管 (SGP-P) (SGP-FPA) (K-P)</p> <p>ロ) 土間配管用 ・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ ステンレス鋼管 (SUS316)</p> <p>・ 塩ビライニング鋼管 (SGP-V) (SGP-FVD) (K-V)</p> <p>・ ポリ粉体鋼管 (SGP-P) (SGP-FPD) (K-P)</p> <p>・ 水道用ポリエチレン管 水道用配水用ポリエチレン管</p> <p>ハ) 屋外土中用 ・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ ステンレス鋼管 (SUS316)</p> <p>・ 塩ビライニング鋼管 (SGP-V) (SGP-FVD) (K-V)</p> <p>・ ポリ粉体鋼管 (SGP-P) (SGP-FPD) (K-P)</p> <p>・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)</p> <p>・ 水道用ポリエチレン管 水道用配水用ポリエチレン管</p>	
<p>給 水 設 備</p> <p>1. 壺 水 器</p> <p>2. 量 水 器 類</p> <p>3. 配 管 材 料</p>	<p>一) 配管材料</p> <p>イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白管)</p> <p>ロ) 土中配管用 ※ 外面被覆鋼管</p> <p>(土管を含む)</p> <p>2. 液化石油ガス容器</p> <p>3. ガスメーター</p> <p>4. 容 器 廻 り の 配 管</p> <p>5. 容 器 防 止 止 止</p> <p>6. ガス漏れ警報器</p> <p>⑦ その他</p> <p>イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白管)</p> <p>ロ) 土中配管用 ※ 外面被覆鋼管</p> <p>(土管を含む)</p> <p>10kg ・ 20kg ・ 50kg 本 ※ 借用 ・ 買取り</p> <p>ゲージメーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。</p> <p>※ 自動切替式 施工方法は標準品 (施工67) の ・ 施工要領 (a) ・ 施工要領 (b)</p> <p>施工方法は標準品 (施工68) の ・ 施工要領 (a) ・ 施工要領 (b)</p> <p>※ 不要 ・ 要 (取付け位置は指示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要)</p> <p>警報器から制御盤、送排弁までの電線種別は別途工事とする。</p> <p>※ 別途電気工事</p> <p>都市ガスはガス供給事業者の供給規定による。</p>	
<p>給 湯 設 備</p> <p>1. 壺 水 器</p> <p>2. 量 水 器 類</p> <p>3. 配 管 材 料</p>	<p>一) 配管材料</p> <p>イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白管)</p> <p>ロ) 土中配管用 ※ 外面被覆鋼管</p> <p>(土管を含む)</p> <p>2. 液化石油ガス容器</p> <p>3. ガスメーター</p> <p>4. 容 器 廻 り の 配 管</p> <p>5. 容 器 防 止 止 止</p> <p>6. ガス漏れ警報器</p> <p>⑦ その他</p> <p>イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白管)</p> <p>ロ) 土中配管用 ※ 外面被覆鋼管</p> <p>(土管を含む)</p> <p>10kg ・ 20kg ・ 50kg 本 ※ 借用 ・ 買取り</p> <p>ゲージメーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。</p> <p>※ 自動切替式 施工方法は標準品 (施工67) の ・ 施工要領 (a) ・ 施工要領 (b)</p> <p>施工方法は標準品 (施工68) の ・ 施工要領 (a) ・ 施工要領 (b)</p> <p>※ 不要 ・ 要 (取付け位置は指示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要)</p> <p>警報器から制御盤、送排弁までの電線種別は別途工事とする。</p> <p>※ 別途電気工事</p> <p>都市ガスはガス供給事業者の供給規定による。</p>	
<p>給 湯 設 備</p> <p>1. 壺 水 器</p> <p>2. 量 水 器 類</p> <p>3. 配 管 材 料</p>	<p>一) 配管材料</p> <p>イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白管)</p> <p>ロ) 土中配管用 ※ 外面被覆鋼管</p> <p>(土管を含む)</p> <p>2. 液化石油ガス容器</p> <p>3. ガスメーター</p> <p>4. 容 器 廻 り の 配 管</p> <p>5. 容 器 防 止 止 止</p> <p>6. ガス漏れ警報器</p> <p>⑦ その他</p> <p>イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白管)</p> <p>ロ) 土中配管用 ※ 外面被覆鋼管</p> <p>(土管を含む)</p> <p>10kg ・ 20kg ・ 50kg 本 ※ 借用 ・ 買取り</p> <p>ゲージメーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。</p> <p>※ 自動切替式 施工方法は標準品 (施工67) の ・ 施工要領 (a) ・ 施工要領 (b)</p> <p>施工方法は標準品 (施工68) の ・ 施工要領 (a) ・ 施工要領 (b)</p> <p>※ 不要 ・ 要 (取付け位置は指示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要)</p> <p>警報器から制御盤、送排弁までの電線種別は別途工事とする。</p> <p>※ 別途電気工事</p> <p>都市ガスはガス供給事業者の供給規定による。</p>	

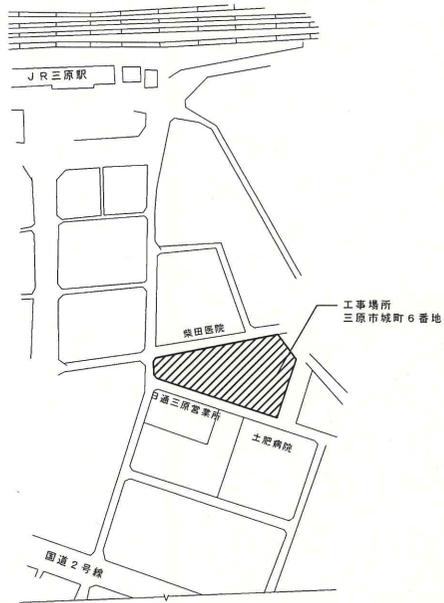
<p>機 械 式 駐 車 設 備</p> <p>1. 機 構 要 素</p> <p>2. 駐 車 方 式</p> <p>3. 運 送 数 値</p> <p>4. 車 間 寸 法</p> <p>5. 最大積載重量</p> <p>6. 電 源 ・ 容 量</p> <p>7. 運 転 方 式</p> <p>8. 安 全 装 置</p> <p>9. 耐 震 措 置</p>	<p>※ 共通仕様適合品 ・ 製造者標準品</p> <p>※ 二段方式 ・ 多段 () 段方式</p> <p>※ 昇降式 ・ 昇降機付式 ・ 昇降ピット式 ・ 昇降機付ピット式</p> <p>運 送 数 値</p> <p>長×幅 × 高さ mm</p> <p>・ 4,700 × 5,000 × 5,300 × 5,750</p> <p>・ 1,700 × 1,800 × 1,900 × 2,050</p> <p>・ 1,550 × 2,000</p> <p>・ 1,500kg ・ 1,700kg ・ 2,000kg</p> <p>6. 電 源 ・ 容 量</p> <p>※ 3φ200V ・ 1φ100V _____ kw 同時動作 _____ 連分</p> <p>7. 運 転 方 式</p> <p>※ 押しボタン方式 ・ 自動方式</p> <p>8. 安 全 装 置</p> <p>・ 二段方式の「自動閉鎖装置」を除く</p> <p>・ 出庫警報装置を ※ 取り付ける ・ 取りやめる</p> <p>9. 耐 震 措 置</p> <p>構造体の設計用水平地震 _____</p>
---	---

建設大臣官庁官庁建築事務の「建築材料・設備材料等品質性能評価事業 設備材料等評価名簿 (平成12年版)」記載仕様表

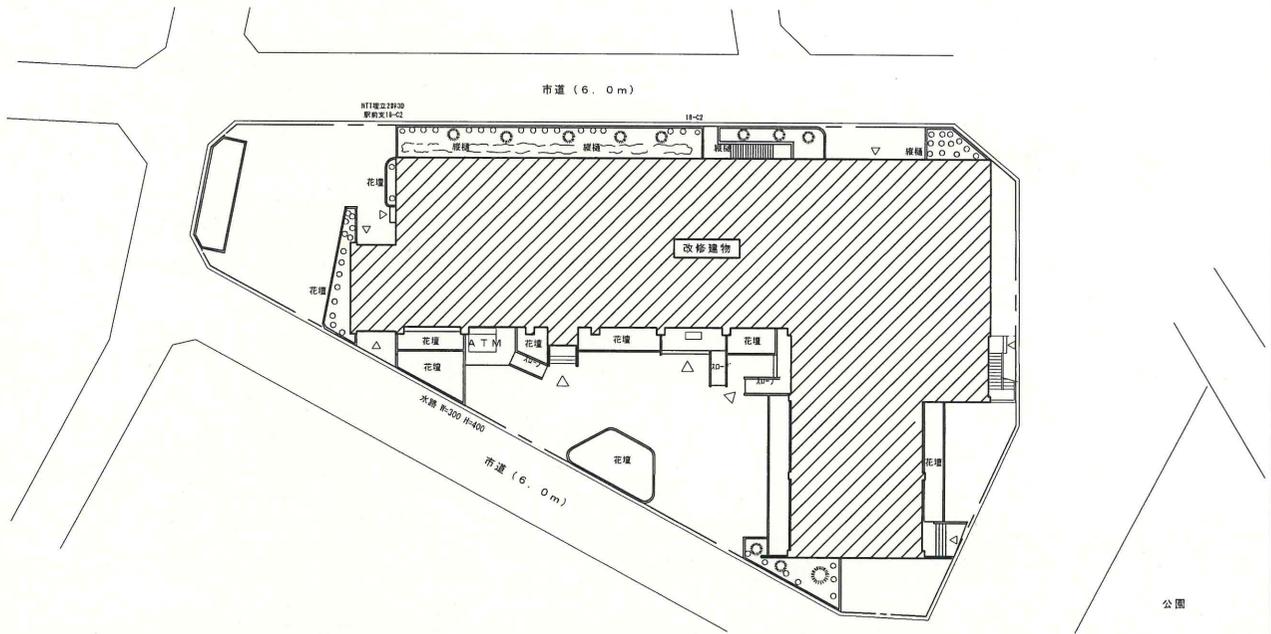
品目	機 材 名	備 考
弁及び継手	圧圧弁・温度調節弁 伸縮管継手 (ベローズ製、スリーブ形) 一般配管用ステンレス製弁	
ボイラー	鋼板製ボイラー 鉛管用蒸気ボイラー	
温水発生機	真空式温水発生機 (鋼製・銅製) 高圧式温水発生機 (鋼製・銅製)	
冷凍機	チリングユニット (空気調和ヒートポンプユニットを含む) 直置き吸収冷凍機 小形吸収冷凍機ユニット	
冷却塔	冷却塔	
空気調和機	ユニット形空気調和機 ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット パッケージ型空気調和機 (電動式) コンパクト型空気調和機	
空気清浄装置	ガスエンジン式パルケージ型空気清浄機 エアフィルター (袋状形、折込み形、袋形) 自動吸引型エアフィルター 電気集じん器	
全熱交換器	全熱交換器 (回転形、静止形) 全熱交換ユニット	
送風機類	遠心送風機 (多形送風機) 軸流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機	
ポンプ類	換気用ポンプ 水中モーターポンプ (汚水用、雑排水用、汚物用) 高圧送水ポンプ	
ダクト付属品	排出口・吸込口 風量ユニット (空気量、変換量)	
自動制御	自動制御システム	
衛生器具ユニット	衛生器具ユニット	
タンク	FRP製パネルタンク 鋼板製パネルタンク 密閉型鋼板製タンク	
消火装置	スプリンクラー消火システム 二酸化炭素消火システム 消火システム	
鋼製製ふた	マンホールふた・弁製ふた	
積込事項等		

メーカーリスト	機 材 名	製 作 所 名
ガス給湯器	ノーリツ	リンナイ
	パナソニック	パロマ

付近見取図



配置図 1/300

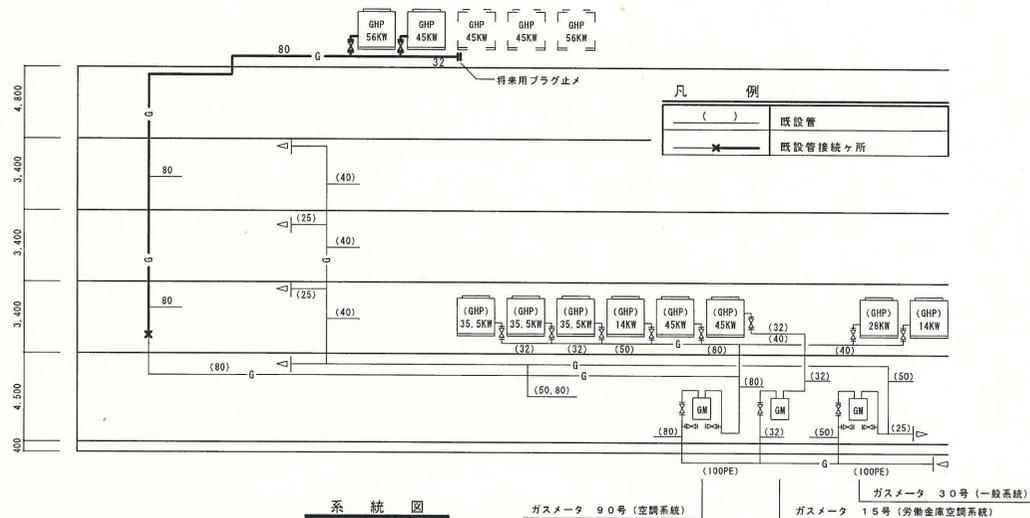


凡 例

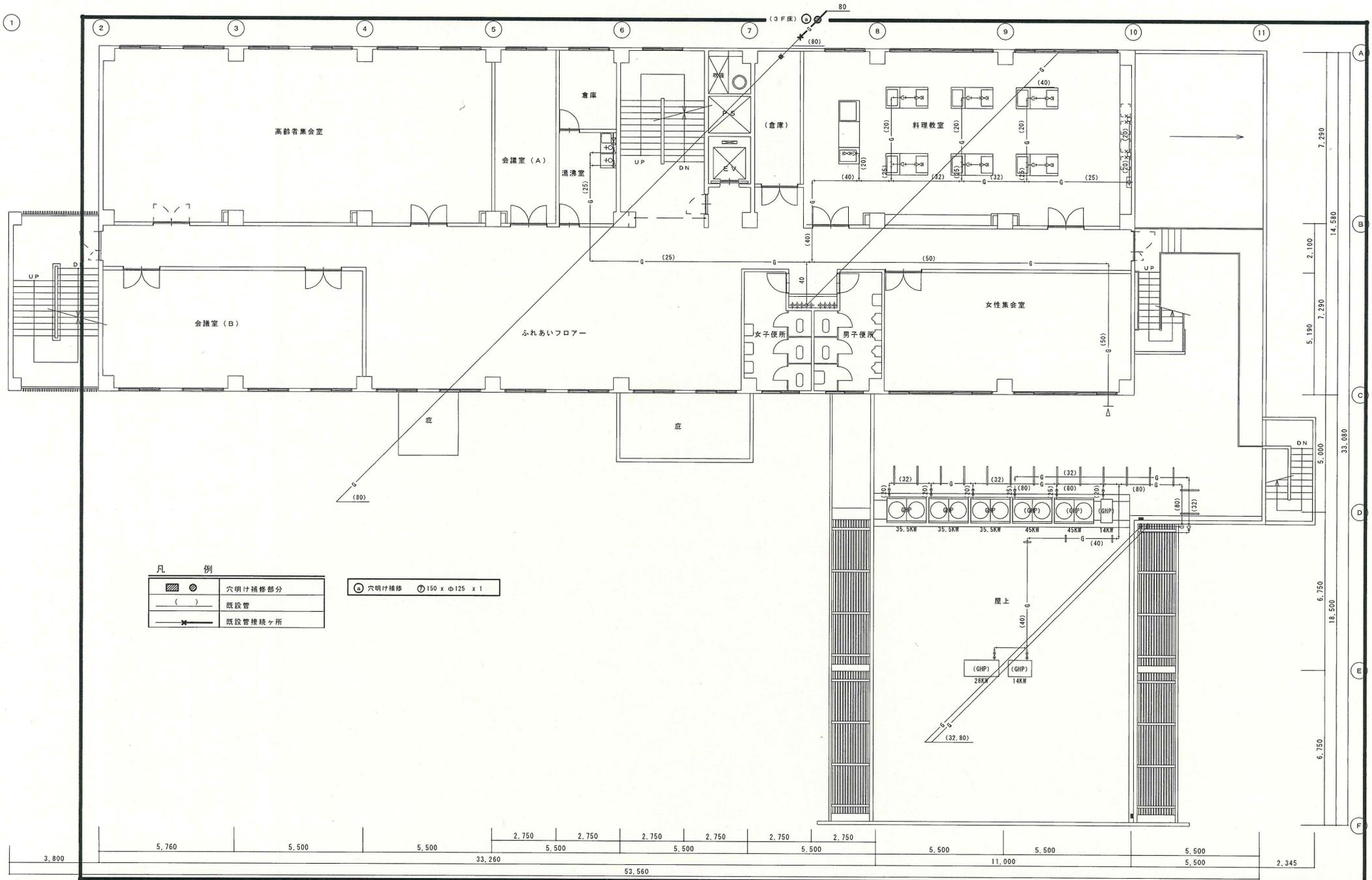
記号	名称	管種	規格	備考
	都市ガス管	配管用炭素鋼鋼管	白管	JIS G 3452 屋外露出部分は塗装仕上げとする。

特記事項

- ダイヤモンドコア抜きの際は、請負金額内にて施工する。
- 図示無き機器・配管等で係員の指示するものは撤去処分すること。



系統図



市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)

設計図

Date

図面名称

2階平面図 (改修後)

Scale

1/100

No.

G-4

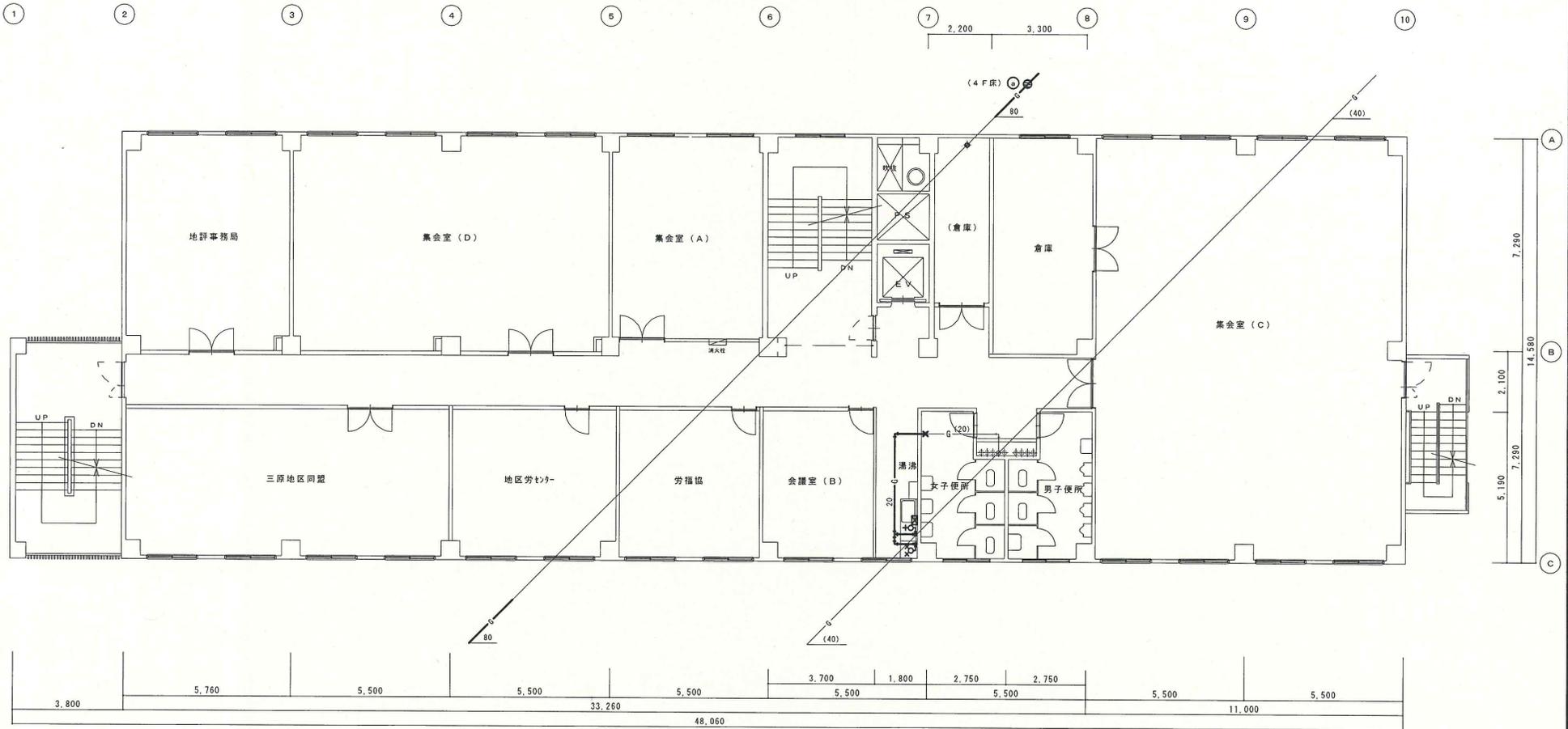
凡 例

	穴明け補修部分
	既設管
	既設管接続ヶ所

○ 穴明け補修 ○ 150 x φ125 x 1

湯沸室器具表

名 称	規 格	数 量	備 考
双口ヒューズガス栓	G825R CG-2共	1	
ガス瞬間湯沸器	5号 元止メ	1	
可とう管ガス栓	G331	1	
強化ガスホース	T1/2 x 200L	1	



市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)

設計図

図面名称 3階平面図 (改修後)

Date

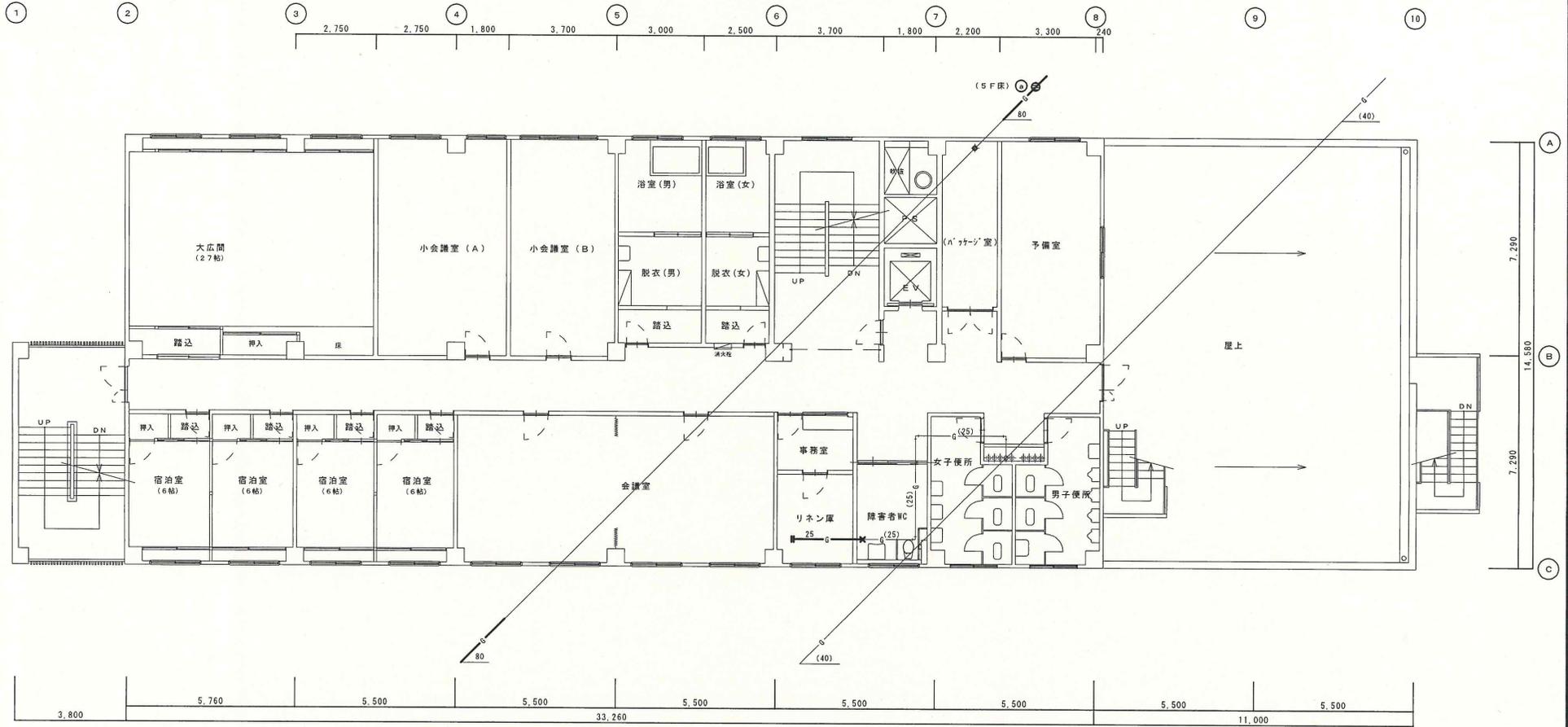
Scale 1/100

No. G-5

凡 例

	穴明け補修部分
	既設管
	既設管接続ヶ所

穴明け補修 150 x φ125 x 1



市民福祉会館改修工事（ガス設備工事）

設計図

Date

図面名称 4階平面図（改修後）

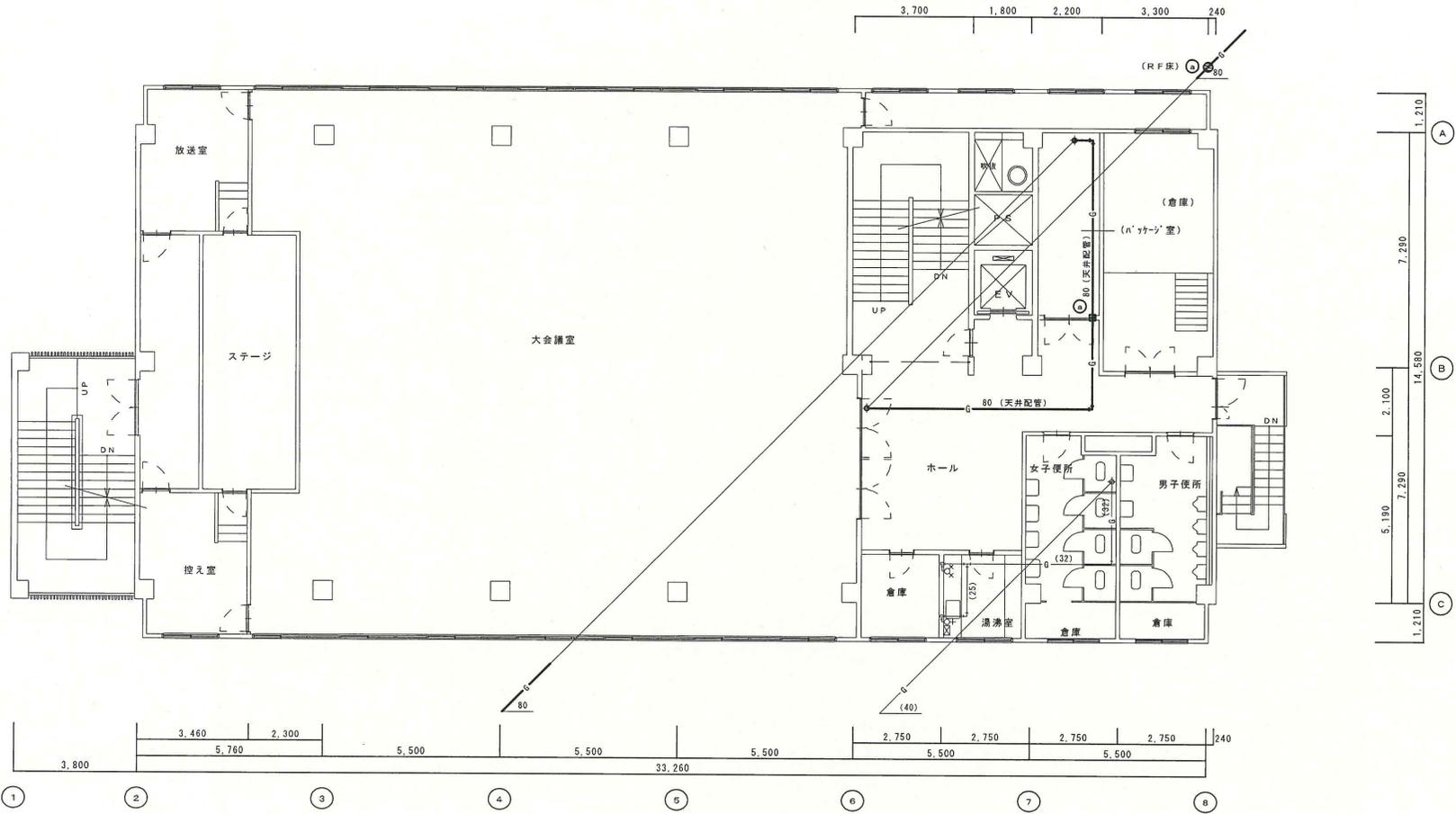
Scale 1/100

No. G-6

凡 例

	穴明け補修部分
	既設管
	既設管接続ヶ所

	穴明け補修		φ150 x φ125 x 2
---	-------	---	-----------------



市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)		設計図	図面名称	5階平面図 (改修後)
Date			Scale	1/100
			No.	G-7

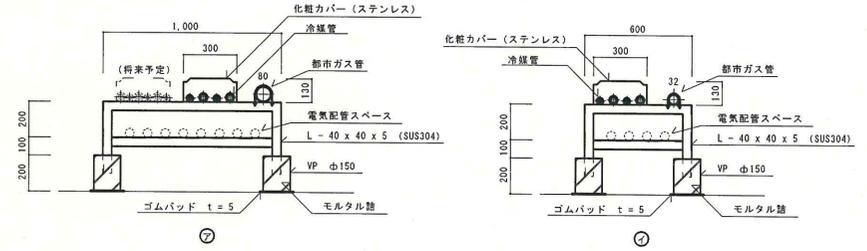
凡 例

	穴明け補修部分
	既設管
	既設管接続ヶ所

④ 穴明け補修 ⑦ 150 x φ125 x 1

屋上器具表

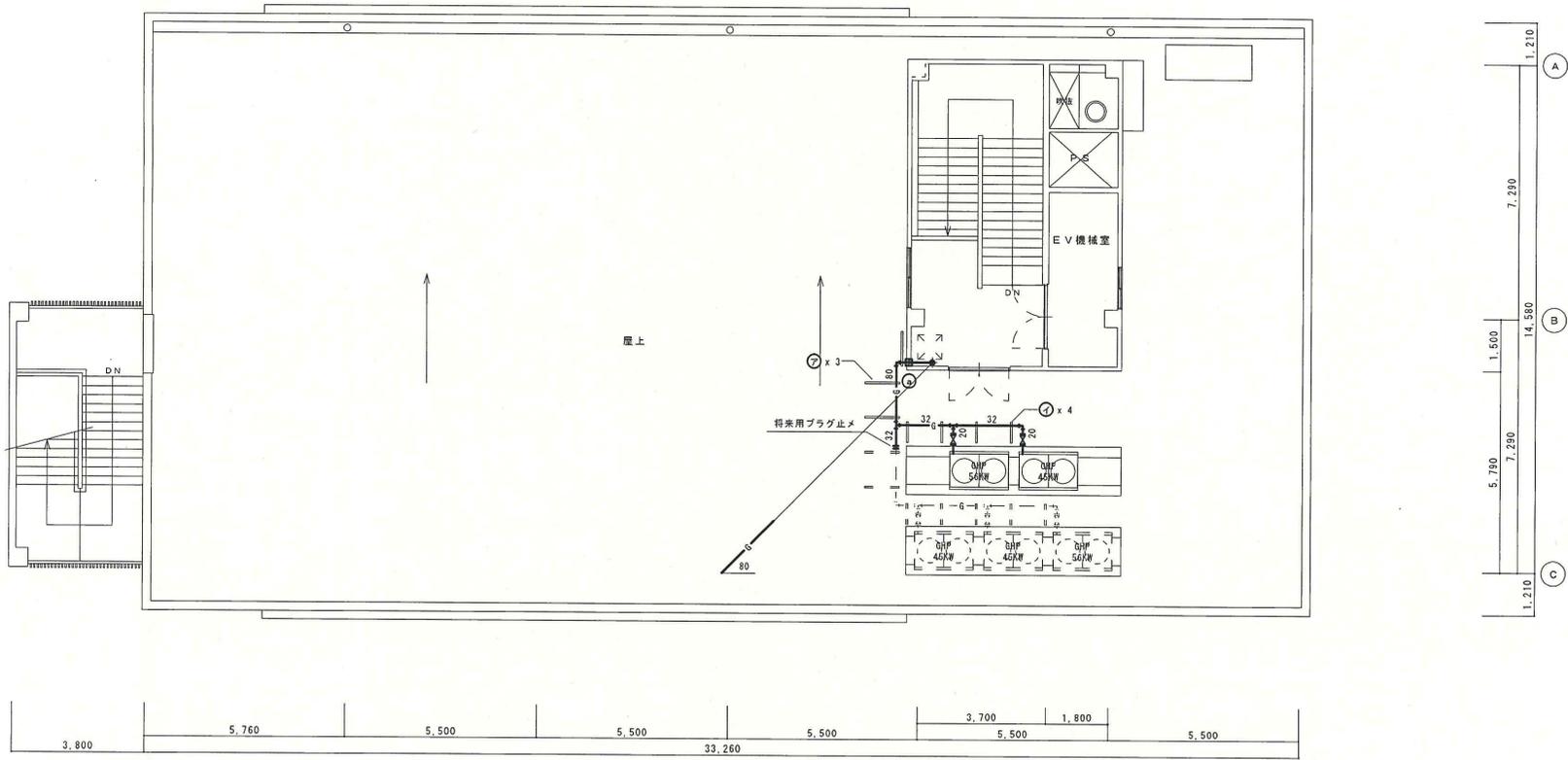
名 称	規 格	数 量	備 考
検査口付ネジガス栓	FF-752A	2	
強化ガスホース	20A x 500L	2	

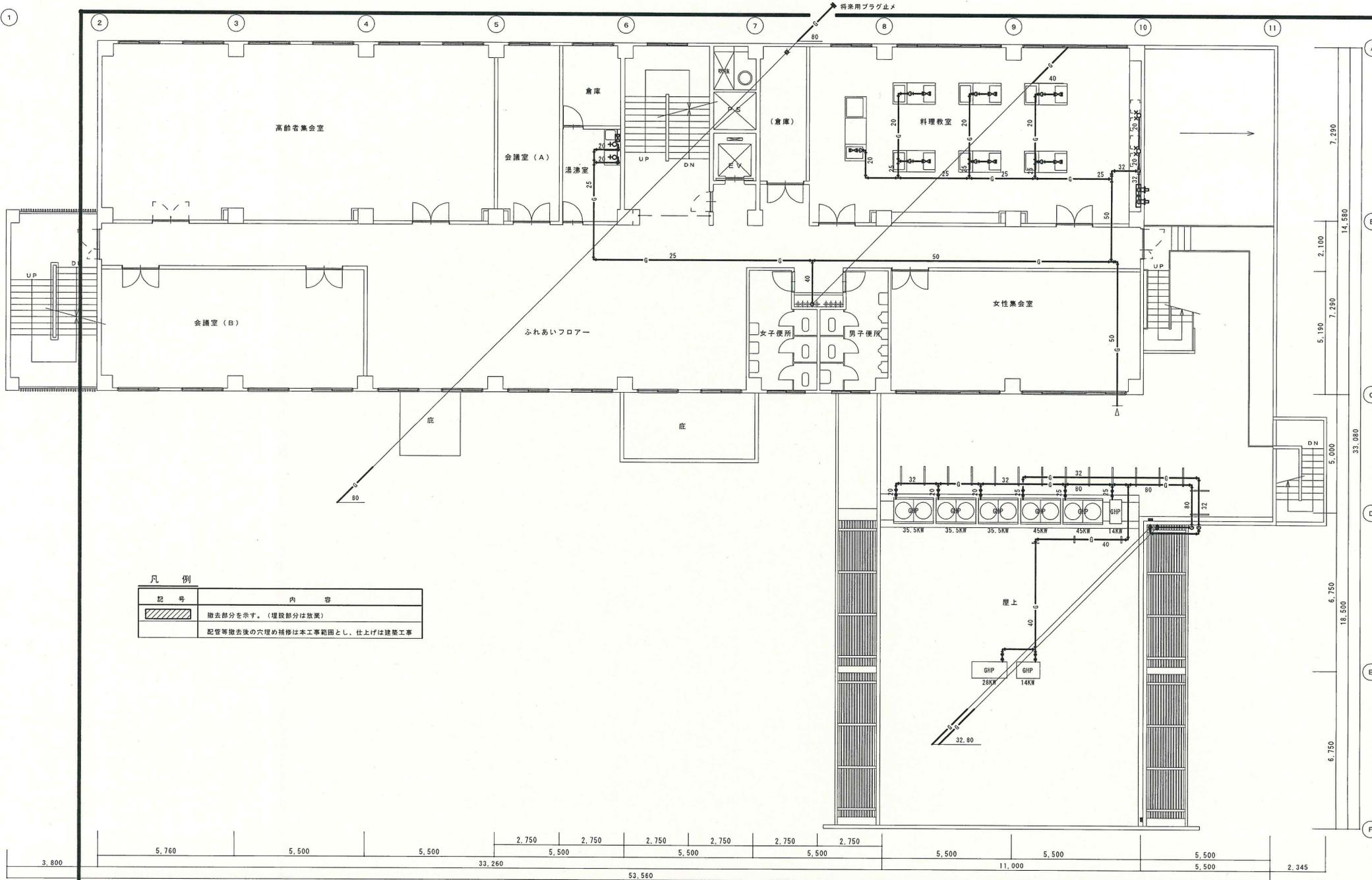


※ 配管用架台は、別途空気調和設備工事とする。

屋上配管要領図

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧





凡例

記号	内容
	撤去部分を示す。(埋設部分は放棄)
	配管等撤去後の穴埋の補修は本工事範囲とし、仕上げは建築工事

市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)

設計図

Date

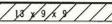
図面名称 2階平面図 (改修前)

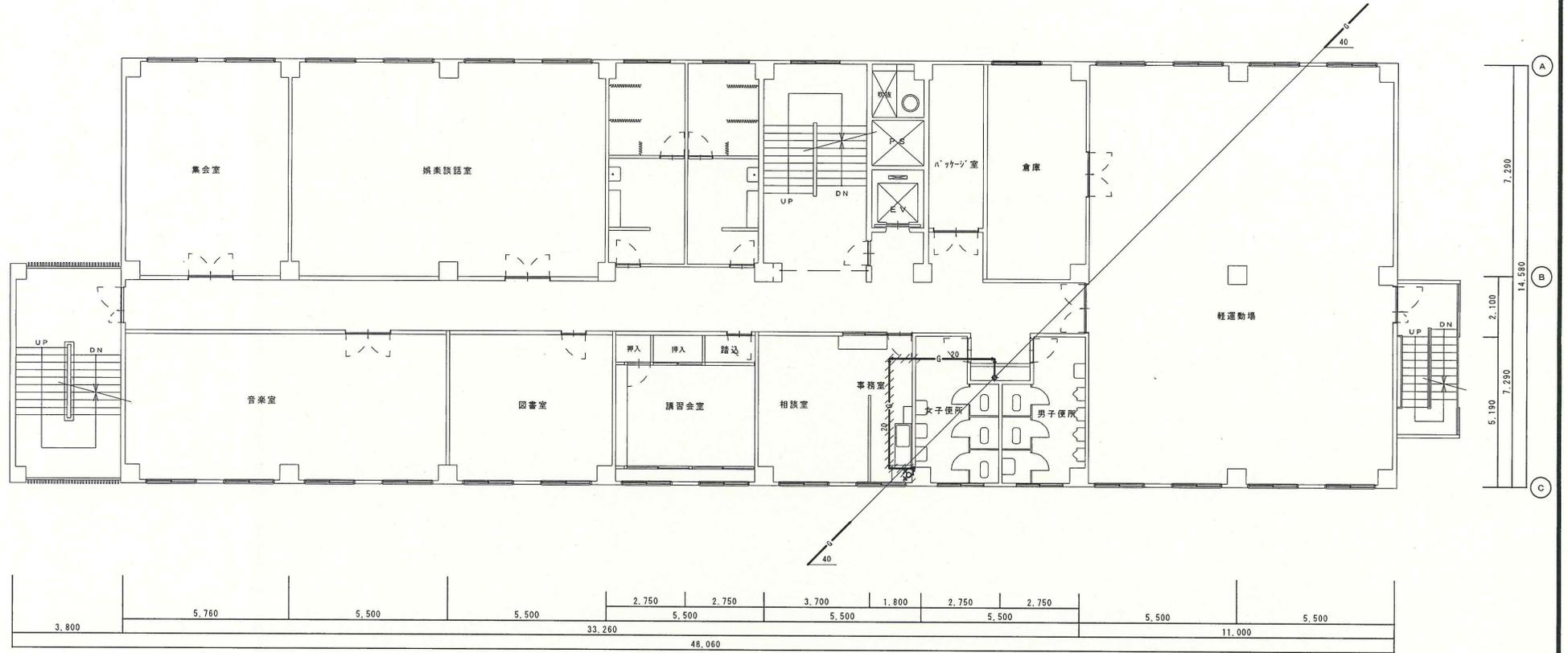
Scale 1/100

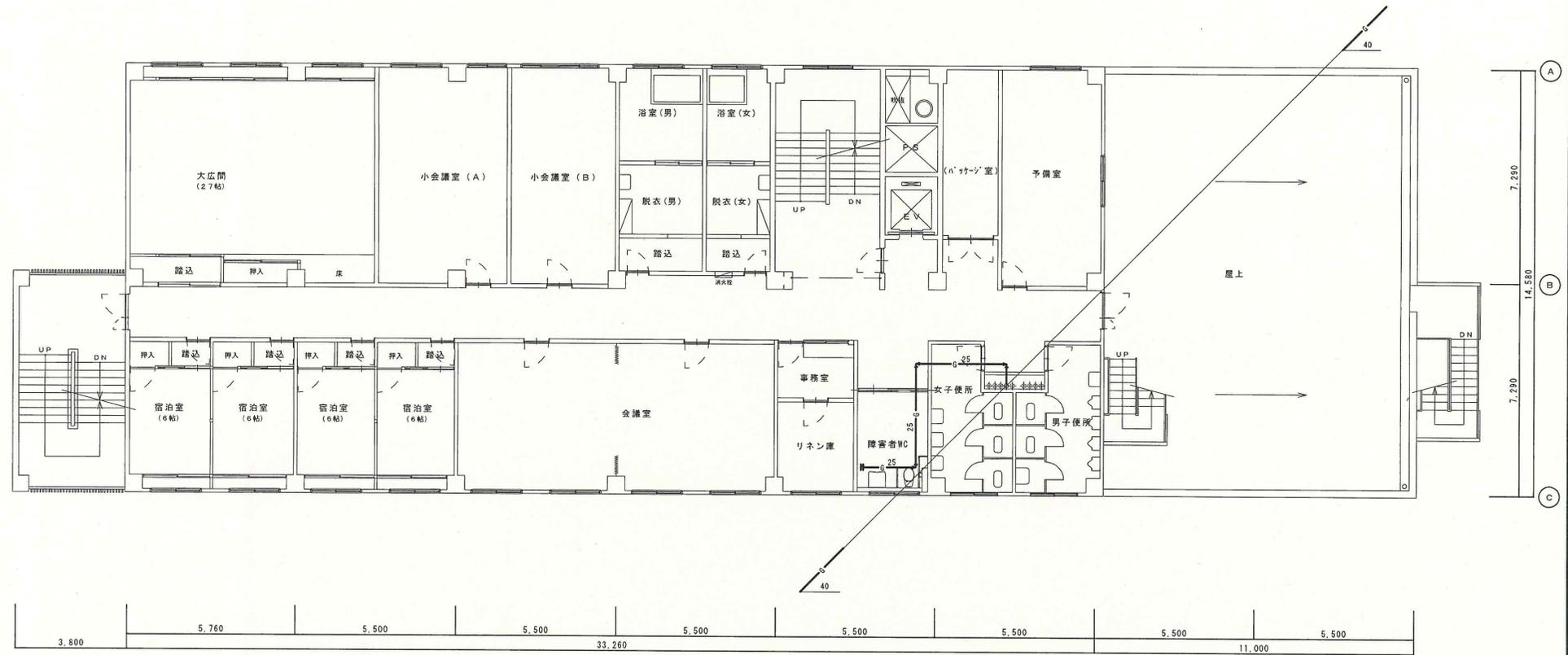
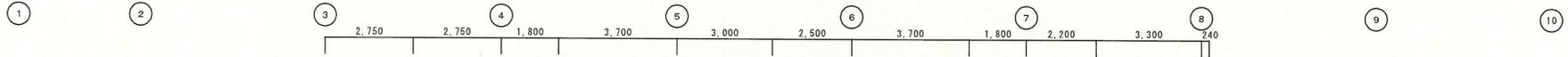
No. G-9

凡 例

記 号	内 容
	撤去部分を示す。(埋設部分は放棄)
	配管等撤去後の穴埋め補修は本工事範囲とし、仕上げは建築工事

事務室器具表		
		





市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)			設計図				図面名称		4階平面図 (改修前)	
							Date		Scale	
							1/100		G-11	